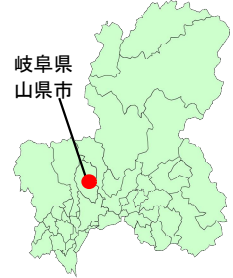


梅原地域ふる里活性化協議会（岐阜県山県市）

自然豊かな環境を後世に

▶ 背景

山県市の南部に位置する梅原地区は、自然豊かな閑静な田園風景を残しながらも、隣接する岐阜市等への人口流出や少子高齢化により遊休農地が増加し、地域の財産である農村風景・自然環境が消失していく不安が住民に生まれていた。このため、この梅原に愛情を持ち自然豊かな環境を末永く後世へ伝えていきたいという願いを実現することを目的に、平成19年に「梅原地域ふるさと活性化協議会」を設立した。



▶ 取組概要

協議会は、農家、非農家に関わらず、自治会、水利組合、ホタルを守る会、農協女性部、子ども会育成会など地区にある全ての団体（21団体）が参加し、市や小学校と連携しながら、農用地・水路・農道等の維持保全活動のほか、生活環境の保全、生態系の保全、食農教育の推進など地域ぐるみの活動を実践している。

自治会が中心となり、ゴミの不法投棄防止のための巡回・点検活動を行うほか、子ども会育成会と共同で実施する「クリーン作戦」では、親子が一緒に通学路、農道等のゴミ拾いを行い、子供たちが農村環境のすばらしさを体験できる環境教育の場となっている。

高田ホタルを守る会がホタルの生息地を保全整備し、子ども会育成会と連携してホタル勉強会、鑑賞会を行うことにより環境保全の理解につながっている。

農協女性部が梅原小学校と連携し、「サツマイモ」「大豆」「もち米」栽培や豆腐や味噌の農作物加工、餅つき等の食農教育活動を実施。子供たちが農業と食生活の関わりを学ぶことで農業への関心を高めることにもつながっている。

▶ 今後の展開

今後は取組を継続しながら、梅原にゆかりのある他地域や地元出身者との交流等、さらに活動の幅を広げ、「住民がこの梅原地区に愛情を持ち、自然豊かな環境を末永く後世に伝えていきたい」という願いの実現と発展を目指している。

▶ 写真で見る団体の取り組み



クリーン作戦（草刈りと水路の清掃）



法面の草刈り



ホタル勉強会



食農教育（芋ほり、稲刈り）



食農教育（豆腐作り、餅つき）



梅原出身の新規就農者（谷原いちご農園）